



RSS/JSS 試験 (Graduate Diploma) 受験要領

(2016年5月実施)

試験日：2016年5月20日（金）・21日（土）・22日（日）

一般会場：東京

連絡先: **統計検定センター**

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3丁目6番
一般財団法人統計質保証推進協会
E-mail rssjss@toukei-kentei.jp

ホームページ www.toukei-kentei.jp

1. Graduate Diploma in Statistics の概要

Graduate Diploma は全部で5つのモジュールからなっています。問題用紙は英語のみとなります。日本で実施する Graduate Diploma 試験問題は RSS が実際に世界各地で実施している試験と同一の英語版を使用します。受験申込の際に、解答で使用する言語として、日本語と英語のいずれか一つが選択できます。ただし、選択した言語を変更することはできません。各モジュールは8問あり、受験者はその中から5問を選択して解答します。解答は記述式で、試験時間は1モジュールあたり180分です。各問題には部分点が示されています。各モジュールの合格水準は50%となっています。

受験者が一度に申し込めるモジュールの数には制限はありません。再受験についても制限ありません。各モジュールにおいて複数回受験した場合、そのうちの最高点が記録されることとなっており、また合格したモジュールについての有効期限はありません。モジュールごとに合格・不合格が決まり、モジュール1からモジュール5の全てに合格する（一度の試験での合格の必要はありません）と Graduate Diploma という資格が、日本統計学会および RSS の連名で授与されます。ただし、Graduate Diploma という資格の授与は一回のみとなっています。Graduate Diploma の資格が授与された後の受験において、試験の得点は通知されますが、Graduate Diploma の資格の再授与はありません。

Graduate Diploma の受験資格の制限は特にありませんが、Graduate Diploma の受験者は Higher Certificate のモジュール1からモジュール6の内容を十分に理解していることが強く勧められています。Graduate Diploma の受験シラバスに明確に記述がなくても、Higher Certificate のモジュール1からモジュール6の内容を用いて出題することがあります。Graduate Diploma を受けるには、Graduate Diploma 出題範囲表で定められている内容以外に、Higher Certificate のモジュール1からモジュール6の知識が要求されます。

各モジュールの内容、出題範囲は出題範囲表および過去問題を参照して下さい。各モジュールの試験問題は数学の能力そのものを問うよりも統計学の文脈で数学の知識を応用する能力を重視しています。

2. 電卓の使用についての注意

試験では電卓を使用することができます。ただし、使用には制限がありますので注意して下さい。また、電卓の管理は受験者各自の責任で行って下さい。

関数電卓を使用することも可能ですが、公平性のため、高度な機能（グラフ表示機能など）を備えたものの使用は禁じます。詳細について下にまとめてありますので熟読して下さい。持ち込んだ電卓が下記の条件を満たしていないと判断された場合、それを試験で使用することはできません。また、電卓の説明書を使用することはできません。

この試験では、統計計算の数値そのものよりも、その基礎を支える論理や考え方を正しく理解し適切に運用できているか、そして妥当な結果や解釈を導くことができるかが重視されていますので、受験者はこの点を十分に理解して答案の作成を行って下さい。

電卓の使用に関する詳細

- 電源内蔵式かソーラー式で、音（操作音や音声など）の出ない電卓に限ります。外部電源を使用してはいけません。
- 画面に3行以上表示できるものは使用できません。

- ノートパソコン、タブレットPC（端末）等は使用できません。
- 次のいずれかの機能を持つ電卓は使用できません。
 - 文字入力機能のあるもの。全てのアルファベットキーがキーボードにあるもの（数字キーとアルファベットキーが合わさっているものも含む）。ただし、16進数表示が可能でAからFまでのキーの付いた電卓は使用できます。
 - グラフ表示機能を持つもの。
 - 印刷機能を持つもの。
 - 文章や公式などの呼出、作成、表示をする機能のあるもの（数学関数の名前や、エラーメッセージのようなシステムメッセージはこの限りではありません）。
 - データ全体や文章、数表などを記憶する機能のあるもの。
 - 辞書機能や翻訳機能を有するもの。
 - 通信機能のあるもの。
- 電卓の説明書を試験中に使用することはできません。

使用できる電卓と使用できない電卓の例

使用できるもの

下記のような電卓は使用できます。キーボードに、数字キー（1、2など）や四則演算キー（+、-など）、関数計算キー（log, cos など）があるものは使用することができます。また、16進数表示の電卓も使用可能です。しかし、文字入力機能があるものや画面に3行以上表示できるものは使用できません。

使用できる関数電卓の例

メーカー	機種						
CASIO	fx-82MS fx-260A	fx-83MS fx-290	fx-85MS	fx-270MS	fx-300MS	fx-350MS	fx-820MS
SHARP	EL-501E	EL-501J	EL-509E	EL-509V	EL-520V		
CANON	F-502G	F-715S	F-604				

使用できないもの

下記のような電卓は使用できません。グラフ表示機能のあるもの、文字入力機能があるものなどは使用できません。計算機能付きのスマートフォンも使用できません。

使用できない関数電卓の例

メーカー	機種						
CASIO	fx-100MS fx-993ES	fx-570MS fx-995ES	fx-912MS fx-915ES	fx-991MS fx-375ES	fx-373ES	fx-573ES	fx-913ES
SHARP	EL-509F EL-566E	EL-509J EL-577	EL-520E EL-520M	EL-520F EL-509M	EL-520J	EL-546E	EL-546V
CANON	F-718-S	F-720i	F-788dx-S	F-766S	F-788SG	F-789SG	X Mark I Pro

3. 統計数値表について

試験では統計数値表が一人ひとりに配付されます。これ以外のいかなる統計数値表も持ち込んだり、使用したりすることはできません。また、配付された統計数値表を試験室の外に持ち出すこともできません。

統計数値表は、統計検定センターのホームページ

<http://www.toukei-kentei.jp/about/rssjss/>

からダウンロードすることができます。受験者は事前に入手し、配付される統計数値表に慣れておくことをお勧めします。

4. 統計の公式について

試験にあたって「公式集」（解答に必要な定義や公式がまとめられたもの）が配付されることはありません。出題範囲に含まれる各種の定義や公式などは全て既知のものとして出題されます。受験者は過去問題や解答例を学習して、必要な公式を覚えるようにして下さい。

5. 数字の表記に関して

本試験問題で使用する表記は、日本で一般に使用されている表記と一部異なるため、注意して下さい。小数点の記号は、日本同様ピリオド"."を用います。

桁数の大きい数字は、右から3桁ごとに区切って表記しますが、区切り方の表記には国際式（スペース区切り）と日本式（カンマ区切り）を併用します。

（例1）12345 → 12 345 または 12,345

ただし、4桁の数字についてはスペースは用いないことが多く、例えば1234 または1,234のように表記します。小数についても同様のルールに従います。

（例2）0.12345 → 0.123 45

ただし、小数点以下4桁の場合もスペースを用いないことが多く、例えば0.1234のように表記します。

なお、コンピュータ出力はこの限りではありません。

6. 申込期間

2016年3月1日（火）～2016年4月1日（金）

7. 申込方法

統計検定センターホームページのRSS/JSS試験受験申込ページをご覧ください。

<http://www.toukei-kentei.jp/ex/ex-996/#apply>

8. 試験会場・日程

一般会場：東京（八重洲ダイビル会議室）

日程：5月20日（金）、21日（土）、22日（日）

■2016年5月20日（金）

14:00～17:00 Module 3 : Stochastic processes and time series

■2016年5月21日（土）

9:30～12:30 Module 1 : Probability distributions

13 : 40～16 : 40 Module 2 : Statistical inference

■2016年5月22日(日)

9 : 30～12 : 30 Module 4 : Modelling experimental data

13 : 40～16 : 40 Module 5 : Topics in applied statistics

9. 受験料

RSS/JSS 試験の受験料は、RSS の設定した受験料を2016年2月初旬の円・ポンド為替レートによって換算したものを基本とします。また、日本統計学会会員、RSS 会員および下記の統計検定協賛団体の学会会員は、割引価格で受験できます。

協賛団体： 応用統計学会、日本計算機統計学会、日本計量生物学会、
日本行動計量学会、日本分類学会

詳しくは統計検定センターホームページのRSS/JSS 試験情報

<http://www.toukei-kentei.jp/ex/ex-996/#jyukenyoy>

をご覧ください。

なお、一度収めた受験料は理由の如何に関わらず返還致しません。

	受験料
受験モジュール数1	26,500 円 (割引価格 : 15,000 円)
受験モジュール数2	41,500 円 (割引価格 : 30,000 円)
受験モジュール数3	56,500 円 (割引価格 : 45,000 円)
受験モジュール数4	71,500 円 (割引価格 : 60,000 円)
受験モジュール数5	86,500 円 (割引価格 : 75,000 円)

10. 結果のお知らせ

2016年8月中にすべての受験者に試験結果通知書を受験票に記載された住所宛に発送します。8月末日までにお手元に届かない場合には rssjss@toukei-kentei.jp までお問い合わせください。

採点結果はRSS/JSSによって確定しており、その結果についての問い合わせには応じません。なお、rssjss@toukei-kentei.jp 宛に、意見を送付することができます。意見送付は8月末日をもって締め切り、その時点で答案は破棄処分されます。

合格者の氏名はRSS の StatsLife ウェブサイト(<http://www.statslife.org.uk>)、日本統計学会会報および統計検定センターのホームページで公表されます。(日本統計学会会報はWeb上にも公開されます。) また RSS および日本統計学会は、信頼できる機関(大学等)からの求めに応じて試験の結果(合否と成績区分)を提供することがあります。

氏名の公表を希望しない受験者は、2016年8月1日までに、その旨を郵便または電子メールによって連絡して下さい。